



2004年(平成16年度)

# 市保連ニュース

Vol.6 2004.11.19

<http://www33.ocn.ne.jp/~shihorenn/shihorenn1.htm> (非公式サイト)

10月28日に「評価委員会と市民の集い」(評価委員会主催)が行われましたが、皆さん参加できましたでしょうか?委員のみなさんと直接やり取りすることで議事録だけでは判りづらい委員会の仕事内容がわかり始めた良い集いになったのではないのでしょうか。

今回はその報告からします。

## 1. 公立保育園改革評価委員会に関して

### ①評価委員会の行う「改革の評価」とは

「市立保育園や保育課など武蔵野市の子育て施策の担当部署での改革の取り組みについて、客観的な評価を行い、改革の実効性を高めること。」

### ②評価委員会の仕事

- ・評価基準の選定
- ・改革計画の進捗状況の把握
- ・改革計画のメリット・デメリットの洗い出し

これ以外にも個別項目ごとの評価や年度ごとの評価をする。

### ③評価の結果、「改革計画そのものが破綻している」という判断をする可能性もある。

### ④「次年度の取り組みについて市長に勧告できる」権限があるのだが、提言するかどうかはわからない。

## 2. 集いに参加された方たちの感想

☆ 「保育の質の向上を目指す」はずの改革計画にデメリットがあり、それが職員への負担増、しかも子どもにシワ寄せが行くこともあるというのは理解できない。

☆ 子どもにシワ寄せが行くような改革計画は破綻しているのではないのか?

☆ 改革計画が破綻しているという評価も有り得るということで、評価委員会が理性的な委員会であることは判ったけれど、それを市長に伝えるかどうか判らないのは不安。

☆ 「保育の質」について評価委員会がどう捉えているのかキチンと話して欲しかった。

☆ 評価委員会の議事録を各園に設置してくれるようになるのは良かった。

☆ 評価委員会と直接話せたのは良かった。改革計画の大元を作った「あり方委員会(武蔵野市公立保育園のあり方を考える委員会)」とも直接話したかった。

# 3. 陳情は…再度継続

10月のニュースでもお知らせしたとおり、武蔵野市議会文教委員会に陳情をかけています。9月の文教委員会では継続でした。

11月16日にも文教委員会があり、再度審議されました。結果は継続です。

次回文教委員会は12月13日(月)。傍聴できますので、ご都合のつく方は是非行ってみてください。

## 陳情主旨

1. 民間保育所保護者を含めた、保護者により選ばれた保護者代表数名を評価委員会メンバーに参画させてください。
2. 保育所は市民の財産であるはずで、現在の保護者のみならずこれからの保護者、またすでに卒園した保護者を含め広く一般市民から評価委員会に参画する公募枠を設けてください。

# 4. いろいろお知らせ

学童保育についての研究集会のお知らせ  
年長組のみなさんは学童保育のこと考えたことありますか？  
学童保育について、いろいろ不安や疑問はありませんか？

第17回三多摩研究集会  
(三多摩学童保育連絡協議会・多摩市連協共催)  
日時：2005年2月27日(日)  
場所：多摩大学(多摩市)  
全体会講師 高橋ヨシエさん  
(武蔵野市学童クラブ指導員)

「子どもをどう捉え、どう関わるか」「親と指導員が、子育てを通じて共に育ちあうには」「地域の中で学童保育が果たす役割とは」などなど、学童保育がこれまで大切にしてきたこと、これからもさらに大切にしていかなければならないこと、高橋さん自らの実践と経験に基づいて具体的に話してもらうことになっています。

## 分科会(予定)

- ・ 子どもたちとの関係づくり
- ・ 子どもの安全をどう守るか
- ・ 障がい児を含めた生活作りなど

## 中越地震被災地への災害義援金のお知らせ

市内各保育園に、中越地震被災地への武蔵野市の取り組みが書かれたポスターが貼ってあるのを見かけましたか？

10月23日(土)夕刻に新潟県中越地方で発生した地震では、武蔵野市の友好都市である小国町でも大きな被害が発生しています。市では小国町に職員の派遣や救援物資の輸送を行っています。

また、保育園の子どもたちも、何かできることがないかと子どもたち同士で話し合っており、手紙や絵や手作りおもちゃを被災地に届けているそうです。

被災地への義援金の受付を各市政センターやコミセン等で行っていますので、ご活用ください。



## 武蔵野市保育園父母会連合会

ありんこ保育園 北町保育園 吉祥寺保育園 境南保育園 境南第2保育園 境保育園 桜堤保育園  
精華保育園 千川保育園 西久保保育園 東保育園 南保育園 武蔵野赤十字保育園

以上13園の父母会(あいうえお順)